

## 価値創造フロー

## 経済価値・社会価値を一体的に創出

経営資源  
(2020年度末)

## 住友化学の強み(コア・コンピタンス)

幅広い技術基盤を活かした  
ソリューション開発力グローバル市場  
へのアクセスロイヤリティの高い  
従業員

## 財務資本

- 資本合計 14,821億円
- 親会社所有者帰属持分比率 25.5%

## 製造資本

- 研究開発・生産拠点  
(2021年4月1日現在) 国内: 11拠点  
海外: 79拠点\*
- 海外生産比率 45.2%
- 休業災害度数率 0.45

※ 販売拠点も含む

## 知的資本

- 研究開発費 1,787億円
- 売上収益研究開発費比率 7.8%
- 国内保有特許件数(単体) 4,513件
- 海外保有特許件数(単体) 8,535件

## 人的資本

- 従業員数 34,743人
  - 研究開発人員 4,393人
  - 海外関係会社従業員数 15,980人
- 社員意識調査  
「当社で働いていることに満足  
している」肯定の回答率(単体) 79%  
(2019年9月実施)
- 教育関連投資額(単体) 約32万円/年・人

## 社会・関係資本

- 住友の事業精神  P2 企業理念
- 経営理念
- 海外売上収益比率 68.3%
- 地域住民との対話 3回

## 自然資本

- 水使用量 980百万トン
- エネルギー(燃料・熱・電力)  
総使用量(原油換算) 2,272千kl
- 炭化水素系化合物※ 1,704千トン

※ 住友化学と国内グループ会社

## 経営として取り組む重要課題

持続的な価値創造のための重要課題  
「マテリアリティ」社会価値創出に関する  
マテリアリティ

## 環境負荷低減への貢献

- 気候変動の緩和
- 製品・技術を通じた貢献
- エネルギー・資源の効率的利用
- プラスチック資源循環への貢献



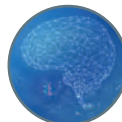
## 食糧問題への貢献



## ヘルスケア分野への貢献



## ICTの技術革新への貢献

将来の価値創造に向けた  
マテリアリティ

## 技術・研究開発の推進

デジタル革新への  
取り組みダイバーシティ&  
インクルージョンの推進

## 事業継続のための基盤

- 労働安全衛生・保安防災
- 製品安全・品質保証
- 人権尊重
- 従業員の健康
- コンプライアンス
- 腐敗防止

## 住友化学の事業活動

## 中期経営計画

P32

## Change and Innovation 3.0

## For a Sustainable Future

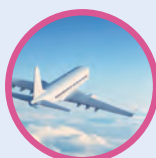
- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| 1 次世代事業の<br>創出加速      | 5 持続的成長を支える<br>人材の確保と育成・活用   |
| 2 デジタル革新による<br>生産性の向上 | 6 コンプライアンスの徹底と<br>安全・安定操業の継続 |
| 3 事業ポートフォリオの<br>高度化   |                              |
| 4 強靱な財務体質の<br>実現      |                              |

## 5つの事業部門



## 石油化学 P40

石油化学品、無機薬品、合繊原料、有機薬品、  
合成樹脂、メタクリル、合成樹脂加工製品  
など



## エネルギー・機能材料 P44

アルミナ製品、アルミニウム、化成品、添加剤、  
染料、合成ゴム、スーパーエンジニアリングプ  
ラスチックス、電池部材 など



## 情報電子化学 P48

光学製品、半導体プロセス材料、  
化合物半導体材料、タッチセンサーパネル など



## 健康・農業関連事業 P52

農薬、肥料、農業資材、家庭用殺虫剤、  
感染症対策製品、飼料添加物、  
医薬品原薬・中間体 など



## 医薬品 P56

医療用医薬品、放射性診断薬 など

## 目指す姿



持続的成長と  
サステナブルな  
社会の実現へ

## 経済価値

| KPI       | 数値目標   |
|-----------|--------|
| ■ ROE     | 10%以上  |
| ■ ROI     | 7%以上   |
| ■ D/E レシオ | 0.7倍程度 |
| ■ 配当性向    | 30%程度  |

## 社会価値

| KPI                              | 数値目標                                                                         |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| ■ グループのGHG排出量※1<br>(Scope 1 + 2) | 2030年度までに<br><b>30%削減</b> (2013年度比)<br>2050年度までに<br><b>57%以上削減</b> (2013年度比) |
| ■ SSS※2 認定製品の売上収益                | 2021年度<br><b>5,600億円</b>                                                     |
| ■ エネルギー消費原単位指数                   | 各中期経営計画の3年間に<br><b>3%以上改善</b>                                                |
| ■ 課長相当職以上の<br>女性社員の割合(単体)        | 2022年中に<br><b>10%以上</b>                                                      |

※1 カーボンニュートラルの実現に向けた新たな目標設定を別途検討中

※2 Sumika Sustainable Solutionsの略。

温暖化対策や環境負荷低減などに貢献する当社グループの製品・技術を認定し、  
その開発や普及を促進する取り組み